

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

16654

自転車活用推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	交通政策費		
	大事業	交通政策事業		
	中事業	自転車活用推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市自転車活用推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	交通政策課 山中 康史	435-1016
事業実施の根拠法令	自転車活用推進法		関連課	道路政策課 等		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	拠点整備や広域連携を行うことで、全国からサイクリストを呼び込み、にぎわいを創出する		魅力あるサイクリング拠点の整備及びサイクリング先進地域との広域連携の強化			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
		・太平洋岸自転車道終点モニタリング制作 ・広域連携スタンプラリーの実施 ・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会	・太平洋岸自転車道終点モニタリング制作 ・広域連携スタンプラリーの実施 ・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会	・太平洋岸自転車道終点モニタリングの維持・管理 ・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 ・シェアサイクル事業の実施に向けた検討		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	5,313	5,428	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	0	0	10,908	11,403	0	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	10,908	11,403	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	2,536	3,015	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	2,777	2,413	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	1.37	1.47	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	業務委託料4,972千円、旅費231千円、負担金110千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
要望活動回数		回	目標値		1	1	1	
			実績値		1			
			達成度(%)	%	100%	%	%	%
要望活動回数		回	目標値		1	1	1	
			実績値		1			
			達成度(%)	%	100%	%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>自転車は、他の交通機関と比べて環境にやさしい交通手段であり、子どもから高齢者まで幅広い世代において、便利で身近な乗り物として、通勤・通学、買い物、サイクリング、観光・レジャー等、日常生活から余暇活動まで、さまざまな場面で利用されている。さらに、近年では、健康づくりや環境意識の高まりなどあって、移動手段として利用ニーズも増加しており、本市の実情に応じた事業の展開が必要である。</p>
見直し・改善内容	<p>和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しの実施も検討していく。また、シェアサイクル事業においては、引き続き関連事業者（交通事業者や運営事業者など）と協議を行い、持続可能な事業として、実施に向けた検討を進めていく。</p>